



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名

株式会社エヌケーシー

所在地

鳥取県鳥取市戎町 471 番地

代表者

代表取締役社長 竹内 茂喜

業種

金融保険業

事業概要

「共生（ともいき）」を社是に掲げ、オートローンやクレジットカード発行など、会社の中核となるクレジット事業のほか、カーリース事業、ホテル業、ゴルフ練習場とゴルフ用品買取販売業、直近では介護事業など、地域の生活者の皆様に近い事業領域で多角的な事業を展開しています。

<2030 年に目指す姿>

社会はキャッシュレス化が進んでいます。キャッシュレス化により様々なメリットが地域にもたらされることから、国はキャッシュレス比率を 2020 年の 29.7%から 2025 年に 40%へ引き上げることを目標としており、2030 年にはさらに普及することが見込まれます。弊社の中核であるクレジット事業は、地域の決済事業者として、ステークホルダーである地域の生活者と事業者へ様々な決済手段を提供し、キャッシュレス化を推進していきます。

クレジット事業以外の各事業においても、地域に目を向け、質の高い商品やサービスを提供することで、地域社会の安定と経済の活性化に貢献していきます。

そして、将来を担う人材の育成、今後進んでいくデジタル化への対応を行い、社員が働きがいを持てる活気ある職場をつくるとともに、業務効率化と資源保護につながる取組みを行っていきます。

会社全体での底上げを図り、「地域に根ざし、ともに発展する地域密着カンパニー」を目指していきます。

<目指す姿の実現に向けた重点的な取組>

社会10：地域社会への貢献

経済6：コロナなどの市場変化を見据えた対応

経済8：デジタル化による生産性向上

環境3：【気候変動③】自社の活動が引き起こす影響

<重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

◆キャッシュレス化の促進

経済6のキャッシュレス化の促進のメリットとして、紙幣インフラコストの削減、インバウンド消費の拡大、業務効率化、労働力不足への対応、経済の活性化などがあげられます。一方、負の影響として近年増加しているクレジット犯罪や、返済能力を超える利用による自己破産などがあります。クレジット犯罪についてはセキュリティ対策として本人認証システムの導入を予定しており、正しく利用していただくためにも社会8にある若年者に対する教育は必要であると考えます。また、キャッシュレス化に対応できない人へのアプローチとして、クレジットの理解を深めるための啓発を行うとともに、年齢などの条件なしに利用できる電子マネーに対応した端末機を地域の事業者へ普及させることに取り組んで参ります。

◆デジタル化による生産性向上

経済8のデジタル化によるメリットとして、これまで紙に記載されていた情報を処理する業務が削減され、生産性が向上するとともに、伝達スピードのアップがあげられます。また、環境3にある通り紙の削減により自然保護へつながります。業務効率化は労力の省力化であり、効率化により余剰となる人員は経済9にある通り配置転換等により雇用を維持していく必要があります。

◆紙の削減

環境3にある紙の削減によるインパクトの内容はチェックシート記載の通り。

◆地域社会への貢献

社会10の地域社会への貢献について、正の影響として、企業価値の向上に加え、社員が誇りをもてる働きがいのある職場となることが考えられます。一方、負の影響としては、活動における人的負担、経済的負担が考えられ、経営計画に盛り込み、社員一人一人が理解のもとで取り組んでいく必要があります。

社会(1/2) : 株式会社エヌケーシー

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働災害の防止	<p>【主な取組】 交通安全への取組として、安全運転管理者による交通安全の注意喚起、MMラーへの参加による社員の安全運転に対する意識高揚などを行っている。 衛生管理規定を整備、年1回の健康診断(一定年齢に達した者は人間ドック)の受診を義務付け、安全衛生の確保に努めている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 労働災害0の実現(毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 事業多角化により労働災害につながるリスクも多岐にわたることから、それらのリスクを事業ごとに整理し、防止策を策定する。(R5年6月まで)</p>
ハラスメントの防止	<p>【主な取組】 就業規則でハラスメントの対応について整備。社内にはハラスメント担当を設置し、相談できる体制をとっている。 年1回、全役職員を対象にコンプライアンス研修を実施。 部署単位にコンプライアンスオフィサーを設置、ハラスメントのチェック体制を構築し年2回法務室へ報告を行っている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ハラスメント0の実現(毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 年1回のコンプライアンス研修と、コンプライアンスオフィサーによるチェック体制を実践。</p>
女性の活躍	<p><KPI> 全従業員に対する女性の割合 45.6%(R4年3月時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 34.3%(R4年3月時点)</p> <p>【主な取組】 育児休業等に関する規定を定め、代替要員確保のための業務ローテーション、復職時は育児休暇取得前の部署に配属する等、育児休暇を取りやすい職場環境づくりに取り組んでいる。 女性の産休・育休・時短勤務の取得率は100%となっている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> 全従業員に対する女性の割合 45%以上(R7年3月時点) ※転居を伴う転動がない職種の50%以上を維持 全管理職に対する女性管理職の割合 40%以上(R7年3月時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 「次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく行動計画書」に従った取り組みを行う(R7年3月までの計画) 職務や勤務地等の限定制度を実施(R5年6月までに制度案を策定)</p>
多様な人材の活躍	<p>【主な取組】 毎年、1年の目標を上司と面談で決定の上チャレンジシートを作成し運用するなど、働きがいのある職場環境づくりに取り組んでいる。直近3年間の新卒者離職率は0%。 セカンドライフ支援制度を設け、希望者は70歳まで働ける体制をとっている。65歳以上の従業員は9人/全従業員に占める割合 5.6%(R4年3月)。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 同一労働同一賃金の実現(R7年7月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 職能資格制度の見直しを行う(R5年6月までに制度案を策定) ・職能資格(総合職・一般職)の見直し ・役職の要件、遂行能力の見直し</p>

社会(2/2) : 株式会社エヌケーシー

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
多様な働き方の促進	<p>【主な取組】</p> <p>有給休暇を取得しやすい体制づくり(1時間単位での取得、年2回の有給取得強化月間の実施)</p> <p>社員の健康管理の措置に関する規定を整備。また、コロナワクチン接種休暇やインフルエンザ予防接種の補助を行い健康増進に努めている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>健康経営優良法人の認定取得(R6年3月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>ワークライフバランス推進のため、有給休暇の取得率目標を50%とする。</p>
労働者への人権配慮	<p>【主な取組】</p> <p>年1回、人権教育担当者による人権研修を、全役員を対象に実施。</p> <p>鳥取市人権啓発企業連絡会が開催する人権標語への応募。社員より標語を募集することで、人権を尊重する意識の高揚を図っている。</p> <p>ストレスチェック制度実施規定を整備、年1回ストレスチェックを行い、メンタルヘルス不調の未然防止を図っている。</p> <p>「シトラスリボンプロジェクト」へ参画し、コロナ感染症による差別のない労働環境・社会の実現に取り組んでいる。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>人権ポリシーの策定と公開(R5年1月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>「企業の行動原理」「社員の行動基準」をまとめた「倫理綱領」をもとに人権ポリシーを策定、公開し、ポリシーに沿った行動を行う。</p>
社会配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <p>消費者相談窓口を設置、また、ホームページへお問合せについて掲載し、電話・メールで問合せができる体制をとっている。</p> <p>鳥取環境大学で年1回、クレジット講義を実施、クレジットの危険な面や適切な利用方法を伝えている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>高等学校でのクレジット講義実施(R5年4月より)</p> <p>※成人年齢引下げにより、18歳を迎える高校生にクレジットの注意点を伝える。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>県内教育機関への働きかけ</p> <p>社内での講師育成</p>
地産地消	<p>【主な取組】</p> <p>経営理念に「共生」を掲げ、地域との共存共栄に取り組んでいる。</p> <p>物品購入・燃料給油は地元業者を優先的に利用。</p> <p>地元事業者と提携クレジットカードを発行、事業者と消費者を結び、地産地消につなげている。</p> <p>ホテル内レストランで星空舞、大山どりをはじめとした地元食材を使用し、消費者に提供している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>物品購入における地元業者の利用割合を、R2年度比で5%上昇させる(R7年6月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>現在の購入先の中で、地元業者を利用可能な物品が無いか見直しを行う。</p> <p>キャンペーン賞品に鳥取県産品を取り入れ、地元商品の消費に加えPRの一助とする</p>
地域社会への貢献	<p>【主な取組】</p> <p>「あいサポート団体」認定</p> <p>地域貢献型カード「さかいみなどゴールドカード」を発行。カード利用金額の一部を境港市へ寄付し、地域の活性化にお役立ていただいている。</p> <p>地域のスポーツ振興に貢献するバドミントンチーム「チアフル鳥取」へ支援。活動資金の協賛に加え、選手5名を雇用している。また、SDGs私募債を利用し、活動資金の寄付を行った。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>地域への貢献を経営計画に盛り込み、実践していく(毎年)。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>各施設で地元住民との交流イベントを実施し、地域活性化の取組を行う。</p> <p>創業60周年にあわせた新たな地域貢献活動の実施(R7年8月)</p>

経済(1/2) : 株式会社エヌケーシー

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
セキュリティ対策	<p>【主な取組】 情報機器類運用管理規定を整備、各部署に設置されたパソコン管理者が毎月使用状況をチェックして報告を行い、適正な運用を行っている。</p> <p>個人情報台帳を作成し、保有する個人情報の内容、保管場所、保管期間などを管理している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 サイバーテロの被害 0(毎年)。</p> <p>【目標達成に向けた取組】 サイバーセキュリティ対策の強化。システムの安全性確保のため、定期的に自社および外部委託での点検を行う。</p>
法令順守の取組の徹底	<p>【主な取組】 新入社員研修、年1回の法務研修を実施 社内ネットワーク「ノーツ」による情報発信と注意喚起部署単位にコンプライアンスオフィサーを設置、法令順守のチェック体制を構築し、年2回法務室へ報告を行っている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 法令違反0(毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 法改正等の際は「ノーツ」による情報発信と注意喚起を実施、内容によっては社員向け研修を適宜実施する。 年1回の法務研修と、コンプライアンスオフィサーによるチェック体制を実践。</p>
情報公開	<p>【主な取組】 ホームページへ会社概要、コンプライアンス・クレジットポリシー、個人情報保護方針、反社勢力排除の基本方針、勧誘方針を掲載 ホームページへ第9次中期経営計画を掲載 マイナビに登録し、就職活動に必要な情報を提供</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ホームページでSDGsの具体的な取組を公表(R4年10月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 現在のホームページ掲載内容に加えSDGsの紹介ページを作成し、具体的な取組みを公表していく。</p>
コロナなどの市場変化を見据えた対応	<p>【主な取組】 コロナ禍による現金離れや人との非接触、リモート普及への対応を行っている。具体的には、地元小売店へキャッシュレス決済端末の導入推進、クレジットWEB申込みシステムの開発、LINEを活用してのオンラインゴルフレッスンの実施、ホテルでの部屋食プランの提供などがある。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 市場変化の情報を社内でも共有し、対応していく。</p> <p>【目標達成に向けた取組】 非接触推奨の変化に対応し、クレジットカードへタッチ決済搭載(R5年3月) アウトドア・ゴルフブームを捉え、ゴルフ練習場に新サービスを投資(弾道表示モニター/R4年8月) ドローンの免許制導入に伴い、ドローンスクールの講師養成(R4年12月)</p>

経済(2/2) : 株式会社エヌケーシー

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
自社以外の 経営資源活 用	<p>【主な取組】 大手企業との業務提携を行い、経営に活かしている。具体的には、大手カード会社と包括代理加盟契約により、VISA・Masterの利用環境を地元業者へ提供、大手ホテルチェーンとのパートナー契約による宿泊者誘客、中古ゴルフクラブ販売大手とのFC契約によるノウハウの蓄積などがある。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 他社と提携、共同での新商品開発 (R7年3月までに10件)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 地元事業者との提携クレジットカード発行。 営業エリアが重複しない同業者と共同での商品開発。</p>
デジタル化 による生産 性向上	<p>【主な取組】 業務のWEB化により生産性向上を図っている。具体的には、クレジット申込をWEB化することでの受付業務削減、加盟店あて支払い明細書のWEB化による印刷・封入・発送業務の削減。ホテル宿泊のWEB予約を促進し、受付業務の軽減。ゴルフショップの会員証をスマホのアプリにすることで、会員登録業務を削減。介護の業務日報をWEB化することで、情報の共有と伝達の迅速化などがある。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 WEB化・デジタル化促進による業務の効率化を推し進めていく。</p> <p>【目標達成に向けた取組】 とっとりDXラボへの参画 (R4年7月)。 クレジット申込みのWEB化を進め、事務処理の効率化を図る。WEB申込み比率をクレジットカードは2年間で30%、オートローンは2年間で20%引き上げる。各々の業務日報をデジタル化する (R5年6月まで)</p>
雇用の維持・ 拡大	<p>経営の多角化により、雇用の維持・拡大に取り組んでいる。 R2年2月、小規模多機能型居宅介護事業所を岩美郡岩美町へ開所、同年11月、ドローンスクールの開校など。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 従業員数160人の維持 (R7年3月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 新たな市場を開拓することで雇用を維持していく。 具体的には、法人間取引のキャッシュレス化における市場開拓、カーリース事業の営業エリア拡大などである。 業務効率化による人員余剰は、事業部の垣根を超えた配置転換もを行い雇用を維持する。</p>
人材育成・能 力開発	<p>【主な取組】 自己啓発支援制度 (希望するスキル習得のための資格取得費用は全額、通信講座費用は半額補助) により、目指すスキルの習得を支援。R2年度 (R2年7月～R3年6月) の利用者は30名。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 職種別・階層別研修の導入 (R5年6月まで)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 研修規定・教育研修のマニュアル整備と公表 人事担当者による社員への面談</p>

環境(1/2) : 株式会社エヌケーシー

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策		
自然環境の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】 異常気象により電力供給停止となるケースの増加が予測される。 また、地球温暖化による気温の上昇が予測される。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 停電時にはサーバーへ緊急電力を提供しデータ抹消の危機を回避している。 気温上昇に対し、ビジネスカジュアル制を導入。通年ネクタイ不要とし、業務効率低下の防止とエアコン使用の抑制を図っている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 危機管理に関する規定の見直しを行い、実践していく(R5年6月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 洪水など突発的な気候変動におけるリスクと対応を事業ごとに整理する。 食材を扱う事業(ホテル、介護)は、急性・慢性の気候変動による仕入れへの影響を分析し、対策を準備する。 ゴルフ練習場は、夏の酷暑下においては顧客の安全に留意した運営を行う。</p>
社会・制度の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】 プラスチック資源循環促進法の施行により、プラスチックの資源循環が求められる。 カーボンニュートラルの必要性が一層高まることにより、オートローンの対象となる自動車業界に事業者・消費者とも大きな変革が生じる可能性がある。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 各部署でゴミの分別を徹底、専門の業者が回収しプラスチックは燃料に再利用されている。 ホテルアメニティはフロント渡しとし必要分を提供。 自動車については、電気自動車の今後の展開について情報収集を行っている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 脱炭素の後押しとなるオートローンを取扱い開始(R5年1月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ハイブリッド車、電気自動車を対象にしたオートローンを商品化する。</p>
自社の事業活動が引き起こす影響	<p>【リスク・機会の分析】 当社の事業は紙を多く使用する。紙を削減することにより、原料となる森林の保護、物流時及び廃棄の際における二酸化炭素発生を抑制することができる。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 社内文書等の書面は専門業者でリサイクル処理(溶解)を行い、トイレトペーパーへと資源を再利用。 クレジットカード利用明細書のWEB化促進を図り、紙の削減に取り組んでいる。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 業務のWEB化、デジタル化を進め、紙の削減に取り組む。</p> <p>【目標達成に向けた取組】 帳票類の保管規定を見直し、可能なものはデジタル化する(R5年6月) クレジットカード利用明細書のWEB化を加速させ、R6年6月までの2年間でWEB明細利用者を20%増加させる。</p>

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
カーボンニュートラル		
<省エネ> 燃料消費量の削減	<p><KPI> CO2 排出量 60t-CO2/年(R3年6月時点)</p> <p>【主な取組】 営業活動は車で行うことが多く、二酸化炭素を多く排出している。車両管理担当者が全車両の走行距離・燃料使用量を把握し、過度な使用を抑制している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 57t-CO2/年(R7年6月時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 購入車両の選定基準に燃費効率を加え、老朽化した車両は適宜燃費効率のよいものへ切り替えていく。</p>

環境(2/2) : 株式会社エヌケーシー

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
水資源の適正な管理	<p>【主な取組】 節水につながる設備の設置。 ホテルの客室で使用するシャワーヘッドを節水型へ切り替え、水道使用量の抑制に努めている。 ゴルフ練習場の集球用水路の水は、近くの川からポンプでくみ上げて使用している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 自社で取り組む節水と、水資源保護への間接的支援を行っていく。(毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 介護施設で使用するシャワーなどの水道設備を節水型に切り替え(R5.6月) クレジットカードポイントの交換商品に「水・衛生プロジェクト」に取り組んでいるNPO ウォーターエイドジャパンへの寄付を取り入れる(R5.6月)</p>
環境配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】 リフォーム専用クレジット「リフォームプラン」で、太陽光発電、蓄電池、エコリフォームの導入を後押ししている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 リフォームプラン取扱い加盟店をR3年度比で50%増加させる(R7年6月)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 中小規模の建築業者やエネルギー関連事業者との加盟契約を進め、家庭へのエコ商品普及を後押しする。</p>
環境面での社会貢献	<p>【主な取組】 鳥取市とのアダプト契約により、会社前の袋川土手を「NKCシェードガーデン」として社員が手入れを行い、グリーン化を継続している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 社員参加での活動を毎年実施する。</p> <p>【目標達成に向けた取組】 「NKCシェードガーデン」の管理を継続 鳥取砂丘一斉清掃への参加(R4.秋より)</p>